



今できること
プロジェクト

2025-2026

学び直しと伝承

中学生に
託す伝承の
バトン

被災地取材レポート 聖ドミニコ学院中▶気仙沼市

次世代継承の現場を訪れ、学びを受け継ぐ

東日本大震災の発生からまもなく15年。次なる大災害から一人でも多くの命を守るために、若い世代へ教訓を継承していくことが必須となります。

昨年11月、44人に参加いただき気仙沼市で実施した「次世代継承の現場を訪れ、津波被災物に学ぶツアー」に、聖ドミニコ学院中学校(仙台市青葉区)の5人が同行。

10代のみずみずしい感性による視点から、気仙沼市の被災から復興の歩みを見つめ、多くの学びを得ることができました。



同世代の語り部ガイドたちと記念撮影する聖ドミニコ学院中学校の5人
(前列左から)大友咲希さん(1年)、千葉莉菜さん(1年)、武山虎太郎さん(3年)、及川晃大さん(1年)、飛山晃嬉さん(2年)

語り継ぐ意義を同世代の語り部と共有

現在80人の中高生が語り部として活動する「気仙沼市東日本大震災遺構・伝承館」。階上中学校や気仙沼向洋高校などの12人のガイドで施設を見学しました。壁や天井が崩落、漂着した被災物とともに机や椅子が散乱する教室の惨状に、言葉も出ない5人。4階まで達した津波の爪痕を目のあたりにする度に驚いた様子でした。大津波警報が発せられ、生徒や教師たちがどのような避難行動をとったのか、臨場感たっぷりに説明する同世代の語りに引き込まれる中学生たち。聞き漏らすまいと耳を傾け、熱心にメモを取っていました。指定避難場所の高台を襲った津波で60人が犠牲となった杉ノ下地区では、遺族会メンバーで語り部として活動する小野寺敬子さんに、実父ほか地区全体で93人を失った悲しみを語っていただきました。

「リアス・アーク美術館」では、震災後、2年間にわたって気仙沼市・南三陸町の被害記録調査を行い、2013年4月



から公開している常設展示「東日本大震災の記録と津波の災害史」を企画した館長の山内宏泰さんが一行を案内。山内さんは、三陸沿岸には深刻な被害が生じる津波がおよそ40年ごとに繰り返されている事実を示しながら、「決して過去の話だと切り捨てず、大人になった君たちが親や子、町を守るために今こそ学び、備えてください」と中学生たちに訴えかけました。

さらに、震災伝承施設になっている阿部長商店創業者

の元自宅「命のらせん階段」、震災犠牲者の追悼と記憶の継承を願う「気仙沼市復興祈念公園」も訪問し、この地における復興の未来にも思いを馳せました。

取材の成果発表会をツアー後の11月27日に実施。教訓を全校生徒で共有しました。



気仙沼ツアーの全容は、
2025年12月27日掲載の紙面をご覧ください。



校内発表会

聖ドミニコ学院中学校
武山 虎太郎さん(3年)

中学生がガイドした東日本大震災遺構・伝承館、杉ノ下での小野寺敬子さんのお話、リアス・アーク美術館での体験を通じ、命の尊さ、防災意識、正確な情報を見抜く大切さを痛感しました。まず自分の命を守り、いざという時に人を助ける決意を新たにしました。気仙沼市復興祈念公園では、地域の復興と海とのつながりの重要性も心に留めました。



気仙沼市立階上中学校
三浦 卵楽さん(2年)

プロジェクトに参加させていただき、もっと震災について知らなければならないことに気付かされました。聖ドミニコ学院の方から「どんな思いで話をしているのか」という質問をいただきましたが、私は絶対に震災を風化させたくない、知らないからこそ伝えなければ、という思いで活動しています。この経験を今後の語り部活動に生かしていきたいです。



聖ドミニコ学院中5人全員の感想コメントは
WEBでご覧いただけます。



私たち賛同企業も、被災地再生と伝承のために「今できること」をともに考え、このプロジェクトに賛同し、推進していきます。

IHI／アサヒビル 東北支社／石巻市震災遺構門脇小学校・大川小学校／花王／キュアンドエー／キリンビル 東北第1支社／ケーズデンキグループ・デンコードー／光輝ビルテクノス／神戸製鋼所東北支店／こくみん共済 coop 宮城推進本部／サッポロビール サントリー 東北営業本部／JFEスチール仙台製造所／JTB 仙台支店／住友不動産／生命保険協会 宮城県協会／仙台アンパンマンこどもミュージアム&モール／仙台環境開発／大和証券 仙台支店／大和電設工業／椿本興業／DICグラフィックス／伝承千年の宿 佐勘 東亜道路工業東北支社／東急リバブル／東伸環境／日本製紙／日本製紙クレシア／日本損害保険協会／日本郵便 東北支社／ネクステージ／野村不動産 仙台支店／東日本油化工業／平松剛法律事務所／藤崎／富士フィルムグラフィックソリューションズ／三井住友海上 三井不動産／三菱地所グループ／三菱重工機械システム／宮城県建設業協会／宮城県自動車整備振興会／宮城交通／みやぎ生協／明治安田生命 仙台支社／リコージャパン 宮城支社／Rethink PROJECT (順不同)
◎後援／宮城県、仙台市、気仙沼市、岩沼市、東松島市、宮城県市長会、宮城県町村会、気仙沼市教育委員会

これまでの活動内容や新着情報は「今できることプロジェクト」特設HPをご覧ください。

www.kahoku.co.jp/imadeki/

河北 今できること

検索

facebookページもあります。

今できることプロジェクト企画・制作

河北新報社 営業局

お問い合わせ 今できることプロジェクト事務局(河北新報社営業部)
tel 022-211-1318